

担任 井上 志津子

2学期は、運動会や遠足、居留地交流など行事がいろいろありました。これらの行事を通して、仲間と協力する大切さや楽しさを経験した「あおば3組」です。日々の生活では、6年生を中心に自分たちで考え、互いに声を掛け合って決まりを守ろうとする場面が少しずつ増えてきたように思います。9・10・11月の学習や生活を振り返り、3学期につなげていきたいと思っています。

2学期反省

学習面

○朝の会で、一日のめあてとして学習（や生活）の決まりをあげ、帰りの会で守れたかどうか確認させたことによって、自分たちで決まりを守ろうとする意識が出てきました。6年生が中心となって、お互いに声を掛け合って朝の準備や始業時の準備をする場面も出てきました。

○必要に応じてついたてを使用し、よけいな視覚的刺激を遮断することによって、落ち着いて学習できる環境を整えるようにしました。

○音読は、ペア学習をしようとしたのですが、友だちの音読を集中して聞くことが難しかったので、数人で○読みに取り組みました。きちんと聞いていないと自分が読む場所がわからないので、最初はうまくいきませんでした。少しずつできるようになってきています。その他、一人読みや役割読みなどいろいろな音読をしています。今は、読む事に精一杯な児童も、3学期は、少しずつ意味を考えながら読むことができるようになったらよいと思います。

○漢字については、3年生は読む事に6年生は書くことに重点をおきました。カードやドリルを使って繰り返し練習しました。個人差はありますが、どの児童も1学期より読むことができるようになった漢字が増えました。

○宿題提出については、1学期同様、保護者の方の協力を頂き、国語と算数のプリント類は、ほとんどの児童が取り組むことができていました。「家族読書カード」は、書き方がわからなかったり、絵を描くことに苦手意識を持っていたりする児童が多かったので、(毎回ではありませんが)朝読書や国語の時間を使って読み聞かせをしたあと、みんなで一緒に考えながら書くようにしました。

○かけ算九九の学習は、1学期に継続して取り組んでいます。九九の確実な定着を図るため、九九カードを作り、授業でも学習し、宿題にも毎日だしています。(3年生)

生活面:

○黒板に書いた「星の貯金箱」に、決まりを守れた数だけ星を書くことによって「やる気」を引き出せました。

○ハンカチやネームを持ってこない児童がいるので、家庭と連携を図って継続的に指導していきます。

○体育服忘れがめだちました。3学期は、帰りの会での確認を徹底したいと思っています。

これからも、落ち着いて学校生活を送れるような環境を整えながら、目標や希望をもって、学習や仲間との交流ができるようよう支えていきたいと思っています。

保護者の方々のご協力に感謝しております。3学期もよろしく申し上げます